

## [3]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2557121>

---

出版情報：文學研究. 3, 1933-02-25. 九州文學會  
バージョン：  
権利関係：

# 彙報

## 九大國文學會

### 一、定例講讀會

第一部、春日教授指導「堤中納言物語」前學期の繼續。

第二部、小島助教授指導「芭蕉七部集」前學期の繼續。

### 一、例會

十一月三十日（水）午後六時九大第二學生集會所にて。

京都帝大助教授願原退藏氏歡迎會。

願原氏は臨時講師として十一月二十八日より十二月三日迄

「俳諧史」第一回開講。

十二月十六日（金）午後六時九大第二學生集會所にて。

研究發表。

「太陰說話の研究」

藤野章

「肥後の國學に就て」

白木喬

「文學史の立場」

笹月清美

一月十四日（土）午後一時九大第二學生集會所にて。

京都帝大助教授願原退藏氏惜別談話會。

願原氏「俳諧史」第二回、一月九日より十四日迄開講、終

彙報

了。

一月二十九日（日）午後二時九大第二學生集會所にて。

卒業論文發表。

「北原白秋の短歌」

上村孝二

「萬葉集の理念並に其の展開」

延壽寺末稱

「萬葉集に現れたる奴婢、調庸の

民を中心として」

西田琢磨

「十六夜日記の研究」

林毅

「平安朝女流日記の凝視的研究」

——殊に更級の日記に就て——

藤井毅

### 一、「會報」第四號

二月上旬發行。

### 支那學研究會

一、九月八日第二學生集會所に於て研究會を開く、重松楠本兩教

授、山内講師以下副手學生十六名出席

岡田君先づ太極圖考と云ふ題目のもことに宋學の端緒をなせる

北宋の周濂溪の太極圖説の太極圖についての考證學的研究の

發表あり、次に重松教授の李氏焚書の紹介あり、其の内容概

説の後、同書は明末思想研究の重要な參考資料となり得る

事を論ぜらる。

二二七

(五七五)

一、十一月五日

支那文學支那哲學專攻生は楠本教授引率の下に寶満山に登る。

一、十一月十七日 第二學生集會所に於て熊本高等學校講師文學

博士岡井先生及び福岡高等學校教授井上先生の歡迎會を開催す。出席者楠本教授山内講師助手以下十七名。

九大英文學會

一、第二十四回例會、兼、中山助教歸學歡迎會。

學術探檢旅行の爲十月下旬、フイリツピン、香港、南支方面へ御出張中であつた中山助教は、十二月中旬無事其目的を果して歸學された。本會は、先生の歡迎會を左の通り開催し旅行談を聞く。

昭和七年十二月十九日、工學部中央食堂及圖書館會議室、

學術探檢旅行談「マニラの寺々、其他」中山助教。

尙第二十五回例會は昭和八年二月上旬開催の豫定。

九大獨逸文學會

研究發表會

一、十一月二十二日、午後六時、第一演習室

一、ニーベルンゲンの背景

——シユビールマンステイヒトウソクについて

二、文學作品研究の方法について

一、十二月十日、午後六時、第一演習室

一、ニーベルンゲン傳説について

二、歴史に對する史家び詩人の態度

一、一月廿一日、午後六時、第一演習室

一、「聖ドミンゴに於ける婚約」を中心として見たる

短篇小説家としてのクライスト

九州帝國大學法文學部文學關係講義題目(昭和七年第二學期)

國文學

一週時間 單位數 擔任教官

國語學概論(文字文休篇) 二 〇・五 春日教授

近世後の小説 二 〇・五 小島助教

演習、蜻蛉日記 二 〇・五 春日教授

演習、堤中納言物語 二 同

演習、西鶴置土産 二 〇・五 小島助教

演習、芭蕉連句 二 同

支那文學

章炳麟の學說(第一學期より繼續)四 一・〇 山内講師

永安登一

千代正一郎

永安登一

溝邊龍雄

千代正一郎

漢字形音義

英文學

特講、日本英學史(英詩の部)

二 〇・五 豐田教授

英文學

二 〇・五 マアター講師

英語音聲學演習

二 〇・五 豐田教授

演習、Milton's "Paradise Lost" 一

〇・五 同

演習、英語講讀「ブラウニング」三

〇・五 中山助教授

演習、Shakespeare's Hamlet. 三

〇・五 同

佛文學

十八世紀佛文學史(第一學期より繼續)

四 一・〇 成瀬教授

佛文學史概説(第一學期より繼續)二

〇・五 須川助教授

演習、講讀「ヴォルテールの悲劇」二

〇・五 成瀬教授

演習、コルネイユ「ル・シッド外一篇」

二 〇・五 須川助教授

演習、ゾオルテールの小説

二 〇・五 進藤講師

獨文學

獨文學史、ゲーテ以後

二 〇・五 小牧教授

Heinrich v. Kleist.

二 〇・五 同

獨語學概説(第一學期より

續) 二 〇・五 佐藤助教授

演習、ゲーテ・タツソー

二 〇・五 小牧教授

演習(A) シラー論文集

二 〇・五 佐藤助教授

演習(B) Goethe: Faust. I. Teil. (第一學期より繼續)

二 〇・五 同

梵文學

梵文學講讀(第一學期より繼續)二

〇・五 小野島助教授

梵語及巴利語(第一學期より繼續)二

〇・五 同

言語學

言語學概論(第一學期より繼續)二 〇・五 吉町講師

文學科關係卒業論文題目(昭和八年一月提出)

國文科

一、北原白秋の短歌

上村孝二

一、萬葉集の理念並に其の展開

延壽寺末稱

一、萬葉集に現はれたる奴婢、調庸の民を中心として

西田琢磨

一、十六夜日記の研究

林毅

一、平安朝女流日記の擬視的研究

藤井毅

英文科

——殊に更級の日記に就て——

一、マウグリ・ストーリーズより見たるラドヤド・キツプリングの特性の研究  
有賀 洋吉

一、浪漫主義の研究  
飯高規矩之左右

一、ハーデイの「薄命のジユード」の一研究  
市原 章藏

一、ミルトンの詩觀と宗教觀  
植木 敏一

一、デヨオヂ・ギツシングの性格と一部の作品  
川合 桂一

一、ヂエイ・エム・バリーの主要劇中に見らるゝ人物の研究  
柳水 一雄

一、チヨウサ作「ヤキンタベリ物語」  
西原 龜

一、ペイターのルネイサンスに就て  
首藤 重造

——批評家としてのペイター——

一、現代英詩の先驅者としてのトマス・ワイヤットとサリー卿  
高橋 宏

一、チャールズ・ラムと彼のエッセイズに就て  
高田 隆雄

一、英語讀美歌和譯の歴史  
高宮正二郎

一、劇作家バーナド・ショーの一研究  
只木 徳幸

一、ロバート・ブラウニングの罪惡觀  
永倉 直

一、デイ・エイチ・ロレンスの小説に於ける藝術と思想  
中村 簡一

一、ジョン・キーツの詩の研究  
花田 秀雄

一、チャールズ・デイケンズ、其人と二作品  
横田 國男

一、ウイリアム・ワーツワース作ザ・ブレールドの研究  
和田 計藏

佛 文 科

一、ビエール・ロチ研究序説  
大塚 幸男

寄贈雜誌

日本文學(鹿兒島)、國學院雜誌、外來語研究、文藝思潮、同志社文學

英語英文學研究(東京文理大)、英文學誌(法政大學)、京城帝

大英文學會々報、九大英文學會々報、日本大學英文學會々報

晉聲學協會々報、方言、文學、丘、國語と國文學、國語・國文、

國漢研究、國民文學、ポトナム、帯木、曼陀羅、勁草、水滸、福

岡、歌と評論、國文學誌、黃燈、からまつ